

教員年間活動計画ならびに報告

【令和6年度】

氏名	岡本和也		所属	一般科目文科系	職位	准教授
----	------	--	----	---------	----	-----

職務	項目例	割合【%】		活動内容
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計画	60	1. 通年科目である「歴史」の授業を、2年全クラスに行う。半期科目である「人文社会科学探求」の授業を、3年AEには前期、3年CMには後期に行う。半期科目である「リベラルアーツ特論アラビア語入門」の授業を4年授業選択者に行う。 2. 各科目でWebClassを活用して、課題の提出と返却、出欠記録、それらの開示を行い、授業を円滑に運営する。 3. 盗作防止講義を昨年度より丁寧を実施する。 4. 情報リテラシー教育を昨年度より丁寧を実施する。
		実績		
研究	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	20	1. 従来から校費と科研費基盤研究C(2025年3月まで延長)で進めているジュチ・ウルスの外交史に関する研究を進める。この課題で科研費を申請する。 2. ジュチ・ウルスの外交史に関する投稿論文を作成する。
		実績		
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	10	1. 陸上部顧問として普段の活動指導と遠征に随行する。 2. ダンス同好会主顧問として活動する。
		実績		
校務/管理運営	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	10	1. 総合情報センター長補として、総合情報センター運営に関する校務を担う。 2. 産学民連携テクノセンター運営委員として公務を担う。
		実績		
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画		特になし
		実績		

教員業務内容報告書

報告者氏名		岡本和也		所属		文科		職位	准教授	報告年度	令和5年度
分野	計画				実績		記載事項例				
	エフォート	内容		エフォート	内容(計画からの変更点)						
教育	50	担当科目:歴史、人文社会科学探求、リベラルアーツ特論。盗作防止講義はより丁寧に実施する。MoodleやWebClassといった学習担当科目:歴史、人文社会科学探求、リベラルアーツ特論。盗作防止講義を昨年度より丁寧に実施する。MoodleやWebclassといった学習支援ツールを活用し、課題の提出と返却、出欠記録、それらの開示を行い、授業を円滑に運営する。ICT教育を進める。		50	予定通り実施した。		担当科目名・単位数 卒業研究・専攻科研究指導学生数 教育方法改善内容				
研究	20	14世紀後半におけるジュチ・ウルスの外交史に関する投稿論文を作成する。文部科学省科学研究費補助金・基盤C(2021年4月～2024年3月)「東地中海地域圏」の構築—13-14世紀のジュチ・ウルスを中心に—」を獲得している。		20	投稿論文作成には至らなかったが、研究は進行している。		論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金				
学生生活指導	10	陸上部顧問 ダンス同好会主顧問		10	予定通り実施した。		クラブ顧問 コンテスト指導				
校務・管理運営	10	総合情報センター長補 産学民連携テクノセンター運営委員		10			主事 その他の長 学科長 委員長 部長 主事補等 担任 委員会委員 部会員				
社会活動	10	所属学会:北海道大学東洋史談話会会員 一般社団法人日本オリエント学会会員 内陸アジア史学会会員 日本高専学会会員 中等社会科教育学会会員		10	予定通り実施した。		所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動				

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt～12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。